

建物一斉公開イベント
open! architecture 2011 HIROSHIMA
AUG 13-14, 2011



京橋会館

KYOBASHI KAIKAN 1954



開催にあたって

京橋会館見学会にご来場いただきありがとうございます。
この建物は戦後の復興期に建てられたものであり、現代の住まいとは多くの違いがあります。不自由に思えるところもあるかもしれません。しかし、現代の集合住宅である「マンション」は極端に商品化され、間取りは必ずnLDKで窓は南向きで…と、様々な定番に縛られています。おそらく京橋会館のような中庭は実現できないでしょう。そう考えると、実は現代の私たちの住まいこそが不自由なのかもしれません。
京橋会館の見学を通して自分たちの住まいをちょっとだけ見つめ直す、そんなきっかけになれば主催者としてこれ以上の喜びはありません。足元に気をつけて、どうぞゆっくりとご覧ください。

(アーキワーク広島 代表 高田真)



この資料はアーキワーク広島が独自に調査・作成したものであり、施設管理者および建設事業者の見解ではありません。ご意見・ご質問などございましたら、施設管理者ではなくアーキワーク広島にお寄せください。(mail: support1@oa-hiroshima.org)

本日の見学会は、施設管理者様の協力のもと、特別に開催するものです。問題が発生した場合は見学会を中止することもありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

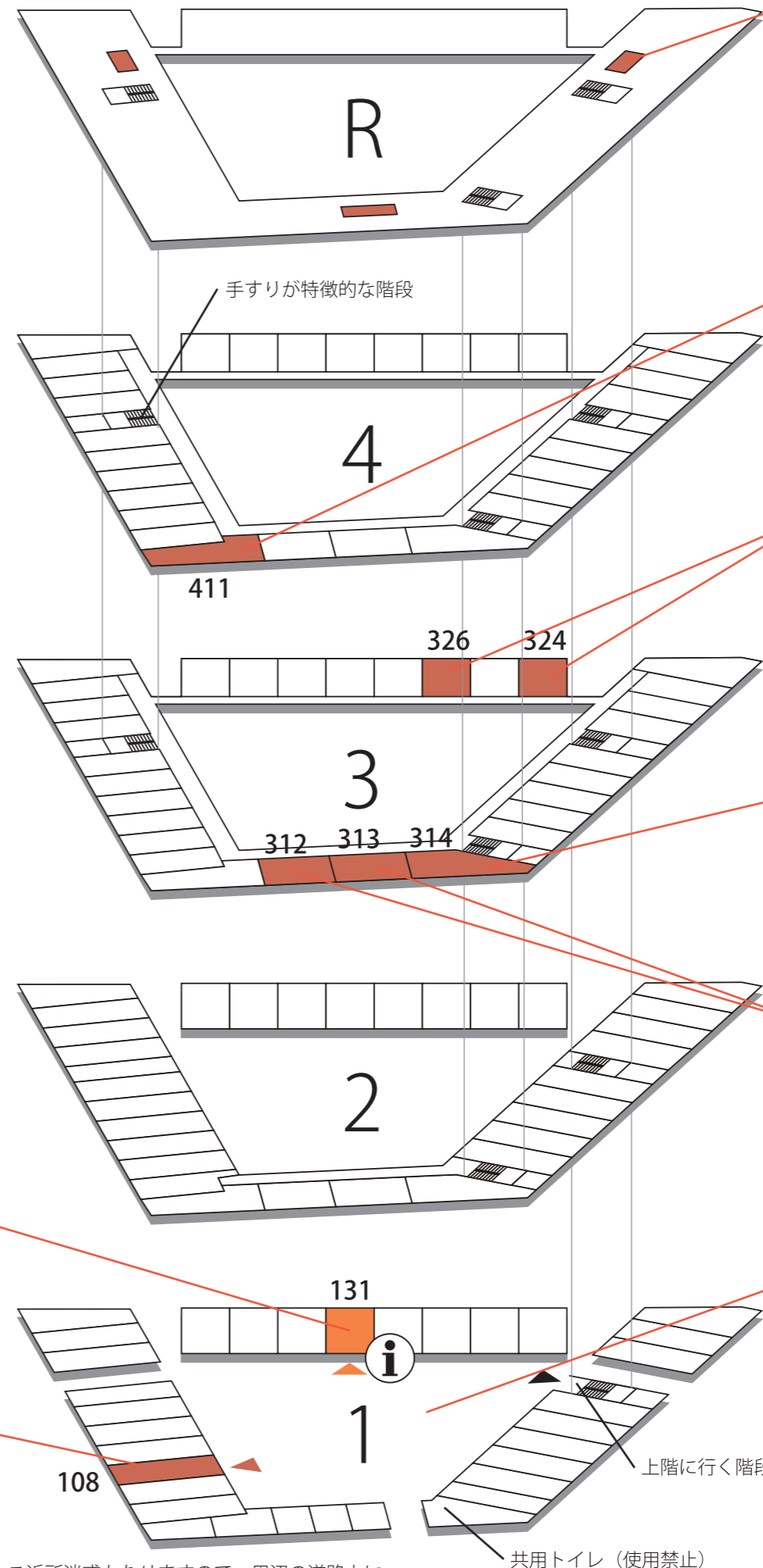
- 周辺道路での駐車・駐輪は近所迷惑となるため禁止しています。外部の駐車場を利用してください。
- 建物内および周辺道路において大声で騒ぐ、ゴミを捨てるなどの迷惑行為は禁止です。タバコを吸うのも極力控えてください。
- 備品・建具・家具などの持ち去りは犯罪になりますので絶対におやめください。
- 立入禁止と書かれた箇所に無断で入らないでください。
- 建物内には、一部床板が抜けていて足元の悪い箇所や、天井が低く頭をぶつけやすい箇所もあります。また、室内はホコリが多く、ぜんそく等の持病のある方には見学をおすすめいたしません。ご見学は自己責任でお願いします。
- 見学中の負傷・器物破損・盗難被害等について主催者はその責を負いません。
- ドアを開ける時は、その先に人がいることも考え、ゆっくりと開けてください。また、建物内のトイレは一切使用できません。(管理者との取り決めによる)
- 中庭を駐車場として使っている住人の方がおられます。車両が入り出すことがありますので注意してください。
- 本日も暑くなっています。熱中症にも注意してください。建物内で飲み物を飲まれるのは構いません。(ゴミは所定の場所に捨てるか、お持ち帰りください。)
- 来場者多数の場合、一部入場を制限する場合があります。
- 写真撮影は可能ですが、近隣の住宅にカメラを向けたり、道路の通行を阻害することのないよう、十分に配慮してください。プライバシーに関わる内容を含む写真をインターネット等で公開することはおやめください。

案内所 (131)

今回の見学会での案内所およびギャラリーとしています。内部には詳しい展示がありますのでぜひご覧ください。

メゾネットタイプ (108)

京橋会館は商店街の移転先として計画されたため、1~2階はメゾネット(上下階で1戸)になっており、1階は店舗として使用されました。また、1階には風呂があり、今でも木製のおけを見ることができます。



屋上の洗い場

屋上には洗い場があります。建設当時は洗濯機が普及していなかったため、ここで洗濯板を使った洗濯が行われていたようです。今は少し違う暮らしぶりを感じさせる場所です。

廊下のある住戸 (411)

「続き間」主体の京橋会館には珍しく室内に廊下があり、現代のマンションに近い感覚の間取りになっています。足元に注意してご覧ください。

標準住戸 (324・326)

3~4階はおおむね同じ形の住戸が並んでいます。324号室(入口のみ見学可)と326号室は標準的なタイプの部屋であり、伝統的な長屋と同じ「続き間」になっています。

白い部屋 (314)

この部屋では全体が白く塗られていて、おしゃれなカフェのような雰囲気です。現代の住まい方に合わせていこうという意図を感じます。

東側の住戸 (312・313)

東側の住戸は奥行きがないため、2部屋が平行に並んでおり「就寝分離」に対応した間取りになっています。

中庭

京橋会館の最大の特徴は中庭です。かつては子供の遊び場があり、また1階住戸のお勝手口が面していたので、住民どうしの交流もあったことなのでしょう。いまどきのマンションとは違う、独特の雰囲気を味わってください。

裏面の解説もご覧ください! ▶▶

